5 建具改修工事

8 鋼製軽量建具（標準型鋼製軽量建具を含む）

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能値の適用は建具表による [5.5.2][5.5.6]

鋼板類の種類 [5.5.3]

・亜鉛めっき鋼板　・ﾋﾞﾆﾙ被覆鋼板　・ｶﾗｰ鋼板　・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板

9 ｽﾃﾝﾚｽ製建具

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能値の適用は建具表による [5.4.2][5.6.2][表5.4.1]

外部に面する建具の耐風圧性 [5.4.2][5.6.2][表5.2.1]

・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６

10 木製建具

かまち戸の樹種　かまち（　　　）　鏡板（　　　）　(16.7.2)

ふすまの種別　・Ｉ類　・Ⅱ類　(表16.7.3)

ふすまの上張り　※新鳥の子又はﾋﾞﾆﾙ紙程度　・鳥の子　(表16.7.3)

ふすまの縁の仕上げ　・塗り縁　・生地縁　(表16.7.10)

11 建具用金具

ﾏｽﾀｰｷｰ　・製作する（　　本）　※製作しない　[5.7.4]

鍵札数量　※錠前１組に２枚とする　・錠前１組に　枚とする

かぎ箱　市販品　形式　・30組用　・60組用　・120組用　・

12 自動ﾄﾞｱ開閉装置

自動ﾄﾞｱの開閉機構 [5.8.3][表5.8.4]

開閉方法	引き戸用検出装置の種類
※ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ ・ｽｲﾝｸﾞﾄﾞｱ	・電子ﾏｯﾄｽｲｯﾁ　・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ　※光線(反射)ｾﾝｻｰ ・音波ｾﾝｻｰ　・熱線ｾﾝｻｰ　・光電ｾﾝｻｰ ・押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ　・多機能ﾄｲﾚｽｲｯﾁ

凍結防止措置　※行わない　・行う（　　　）　[5.8.3]

13 自閉式上吊り引戸装置

※適用する（適用建具及び適用位置は図示による） [5.9.1]

14 重量ｼｬｯﾀｰ

外部に面するｼｬｯﾀｰの耐風圧強度（　　　）N/㎡ [5.10.2]

開閉機能　※上部電動式(手動併用)　・上部手動式　[5.10.2][表5.10.1]

二重ﾁｪｰﾝ、急降下制動装置、急降下停止装置等を設けた電動ｼｬｯﾀｰの [5.10.2]

設置箇所　・図示　・

障害物感知装置を設けた電動ｼｬｯﾀｰの設置箇所　・図示　・

屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止機構

・設ける（設置箇所：・図示　・　　　）

一般重量ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰｹｰｽ　※設ける　・設けない　[5.10.2]

15 軽量ｼｬｯﾀｰ

開閉形式　※手動式　・上部手動式（手動併用）　[5.11.2][表5.11.1]

外部に面するｼｬｯﾀｰの耐風圧強度（　　　）N/㎡ [5.11.2]

スラット　厚さ(㎜)　・0.5　・0.6　・0.8　・1.0　[表5.11.2]

材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯　[5.11.3]

形状　※ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形　・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形　[5.11.4]

ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ等　※鋼板製　・ｽﾃﾝﾚｽ製SUS304(厚さ1.5㎜)　[表5.11.2]

ｼｬｯﾀｰｹｰｽ　厚さ(㎜)　・0.4　・0.8　[表5.11.2]

16 ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ

[5.12.2][5.12.3][表5.12.1]

セクション材料	開閉方式	収納形式	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ﾊﾞﾗﾝｽ式 ・ﾁｪｰﾝ式 ・電動式	・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ﾊﾞｰﾁｶﾙ形	・溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 ※ｽﾃﾝﾚｽ鋼板(SUS304)

耐風圧性能による区分　・５０　・７５　・１００　・１２５　[5.12.2]

17 ｶﾞﾗｽ

下記以外は、建具表による [5.13.2]

・合わせガラス

特性による種類　※ Ⅱ-1類

・強化ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類	特性による種類
・ﾌﾛｰﾄ強化ｶﾞﾗｽ ・型板ｶﾞﾗｽ	Ⅲ類（曲面はＩ類）

・熱線吸収板ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類	色調
・熱線吸収ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収網入り磨き板ｶﾞﾗｽ	・ﾌﾞﾙｰ　・ｸﾞﾚｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ｸﾞﾘｰﾝ

・複層ガラス

材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さの組合せ並びに複層ｶﾞﾗｽの厚さ　・建具表による

断熱性による区分　・Ｔ１　・Ｔ２　・Ｔ３　・Ｔ４　・Ｔ５　・Ｔ６

日射取得性、日射遮へい性による区分　・Ｇ　・Ｓ

乾燥気体の種類　・空気　・

・熱線反射ガラス

品質	反射皮膜面	材料板ｶﾞﾗｽの種類	映像調整
※熱線反射ｶﾞﾗｽ	※内面　・外面	・ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ ・強化ｶﾞﾗｽ ・倍強度ｶﾞﾗｽ	※行わない ・行う
・高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ	・内面		

・倍強度ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類の名称	色調
※ﾌﾛｰﾄ倍強度ｶﾞﾗｽ	
・熱線吸収倍強度ｶﾞﾗｽ	・ｸﾞﾚｰ　・ﾌﾞﾙｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・

18 ｶﾞﾗｽ留め材

[5.13.2][表3.7.1]

建具の種類	種類
アルミニウム製及び樹脂製	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材　※ｶﾞｽｹｯﾄ(FIX部はｼｰﾘﾝｸﾞ材)
鋼製及び軽量鋼製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材
ステンレス製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材

19 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ積み

ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ [5.13.5]

寸法(㎜)		表面形状		性能等	
呼び寸法	厚さ	色調	パターン	防火性能	耐火性能
		※クリア ・		※無し ・	※無し ・

壁用金属枠及び補強材

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製	・標仕16.2.3のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具の材料による
・	・

化粧目地モルタルの色　※モルタル色　・

シーリング材料

下表以外は改修標仕表3.7.1による [5.13.5][3.7.2][表3.7.1]

被着体の組合せ	シーリング材の種別		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分

20 ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	第２種	※内張り　・外張り	飛散防止率　95%以上
・			

品質　JIS A 5759による

⑥ 内装改修工事

① 基本要求品質

[6.1.2]

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量はＦ☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、Ｆ☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

② 改修範囲

⊙既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3]

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

⊙図示の範囲

・天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 [6.1.3]

※壁面より両側600㎜程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

・天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 [6.1.3]

※既存のまま

・図示の範囲

3 施工数量調査

[1.5.2]

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ、ﾀｲﾙ、ﾌﾟﾗｽﾀｰ、ﾎﾞｰﾄﾞ等の面

調査内容

ひび割れの幅及び長さを壁面等に図示する。

ﾓﾙﾀﾙ、ﾀｲﾙ、ﾌﾟﾗｽﾀｰの浮き部分を壁面に表示する。また、ﾓﾙﾀﾙの欠陥部分(ﾓﾙﾀﾙ目地を含む。)を調査する。

仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。

・ｶﾊﾞｰ工法による床・壁・天井改修箇所の下地材

調査内容

既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。

天井下地組の強度、腐朽状況を調査する

・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)

調査内容

建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。

・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。

・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

4 既存床の撤去及び下地補修

・ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ等の撤去 [6.2.2]

※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地ﾓﾙﾀﾙとも(※図示の範囲)

・行わない(※図示の範囲)

・合成樹脂塗り床の材の除去工法 [6.2.2]

・機械的除去工法

※目荒工法

改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の室内　・　[6.2.2]

5 既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.4.9]

※図示

・[4.4.9]ﾓﾙﾀﾙ塗替え工法

仕上げ厚又は全塗厚が25㎜を超える場合の処置

※ｽﾃﾝﾚｽ製ｱﾝｶｰﾋﾟﾝを縦横200㎜程度の間隔に打ち込み、ｽﾃﾝﾚｽﾗｽ等を張る。

・図示

6 木下地等

表面仕上げ [6.5.1][表6.5.2]

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
手加工	・Ｈ－Ａ種	
	・Ｈ－Ｂ種	
	・Ｈ－Ｃ種	

「製材の日本農林規格」による製材 [6.5.2]

品名	樹種	寸法(㎜)	等級	形状	含水率	保存処理
・下地用針葉樹製材			※２級 ・		※A種　・B種 ・	
・造作用針葉樹製材			・上小節 ・小節以上		※A種　・B種 ・	
・広葉樹製材			※１等 ・		※10%以下 ・A種　・B種 ・	

「製材の日本農林規格」以外の製材 [6.5.2]

施工箇所	樹種	寸法(㎜)	材面の品質	防虫処理	含水率
・			（　　　） 造作材の場合 (※A種　・B種)	・適用する ・適用しない	※A種　・B種 ・

・樹種のうち杉は、県産材を使用する

7 集成材

造作用集成材等 [6.5.2]

品名	規格・品質	心材の樹種	化粧単板の樹種	見付け材面数
・造作用集成材	※１等　・２等		・	・
・化粧ばり造作用集成材	※１等　・２等	・	・	・
・化粧ばり構造用集成柱	・１等　・２等	・	・	
・	・	・	・	・

直交集成板 [6.5.2]

品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種
・異等級構成直交集成板	・	・Ａ種 ・Ｂ種	・Ａ　・Ｂ ・Ｃ	・
・同一等級構成直交集成板	・	・Ａ種 ・Ｂ種	・Ａ　・Ｂ ・Ｃ	・
・	・	・	・	・

8 合板等

合板等 [6.5.2]

品名	板厚	接着の程度	樹種	防虫処理
・普通合板	※5.5㎜　・	※１類　・２類	・	・適用する
・構造用合板	※12㎜　・	・特類　※１類	・	・適用する
・化粧ばり構造用合板	・	・特類　・１類	・	・適用する
・天然木化粧合板	・	・１類　・２類	・	・適用する
・	・	・	・	・

9 防腐・防蟻処理

防腐処理　※行う(適用範囲　※改修標仕6.5.5(1)による　・図示)　[6.5.5]

防蟻処理　・行う(適用範囲　　　)　[6.5.5]

防腐・防蟻剤はｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎｽ等を含まない非有機ﾘﾝ系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。

防腐・防蟻処理の方法

工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。

ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

10 軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形式及び寸法 [6.6.3][表6.6.2]

※下表以外は、改修標仕6.6.3及び表6.6.2による

下地材の間隔（㎜）			施工箇所
野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ		野縁	
中央部	周辺部		

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

既存の埋込ｲﾝｻｰﾄ　・使用する　・使用しない　[6.6.4]

あと施工ｱﾝｶｰの引抜き試験　※行う　[6.6.4]

屋外の場合の試験

荷重　・400N　・

箇所数　・当該階において3箇所程度　・図示

ふところが3mを超える場合の補強　※図示　・　[6.6.4]

屋外の天井の補強　※図示　・改修標仕6.6.4(11)による　[6.6.4]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種類	JISの記号	色柄	厚さ(㎜)
※発泡層のないもの	※ＦＳ　・	※無地　・ﾏｰﾌﾞﾙ柄	※2.0
・発泡層のあるもの		※柄物　・無地	
・			

工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所　　　）　[6.8.3]

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種類	JISの記号	厚さ(㎜)	備考
※ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＫＴ	※2.0	
・単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＴＴ	・	
・複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＴ	・	
・置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＯＡ	・	
・薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＯＢ	・	

13 帯電防止床ﾀｲﾙ張り

[6.8.2]

種類	厚さ(㎜)	性能
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	※2.0　・	体積抵抗値(JIS K 6911による) 1.0×10^{9} Ω以下、又は、 漏洩抵抗値(JIS A 1454による) 1.0×10^{10} Ω未満
・ﾎﾓｼﾞﾆｱｽﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	※4.0又は4.5	
・	・	
・	・	

14 誘導用、注意喚起用床材

視覚障害者用ﾀｲﾙ [6.8.2]

適用箇所	種類	寸法（㎜）	形状
屋内	・塩化ﾋﾞﾆﾙ系	※300×300　・	ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝ JIS T 9251 による
	・ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300　・	
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	
屋外	・ｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300×60　・300×300×30	
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	

15 ビニル幅木

高さ(㎜)　※60　・75　・100　[6.8.2]

16 カーペット敷き

内 装 改 修 工 事

・織じゅうたん [6.9.1][6.9.2][表6.9.1]

種別	織り方	ﾊﾟｲﾙ形状	帯電性	色・柄等
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用	人体帯電圧 ※3kV以下 ・	※単一色(無地) ・柄物(標準品)

・タフテッドカーペット [6.9.2][6.9.3][表6.9.2]

ﾊﾟｲﾙ形状	ﾊﾟｲﾙ長(㎜)	工法	帯電性
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	※5.0～7.0　・	※全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	人体帯電圧 ※3Kv以下 ・
・ﾏﾙﾁﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟ	※4.0～6.0　・		
・ﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※4.0		
・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用	・		

・タイルカーペット [6.9.2]

種別	ﾊﾟｲﾙ形状	電気抵抗値(Ω)	施工箇所
※第一種 ・	※ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	※適用しない ・10^{9}Ω以下	

⑰ 合成樹脂塗床

[6.10.3][表6.10.4～表6.10.8]

種別	仕上げの種類
・弾性ウレタン樹脂塗床材	※平滑仕上　・防滑仕上　・つや消し仕上げ
⊙エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流しのべ仕上げ（※平滑　・防滑）
	・厚膜流しのべ仕上げ（※平滑　・防滑）
	・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑）
	・薄膜型塗床

⑳ せっこうﾎﾞｰﾄﾞその他のﾎﾞｰﾄﾞ張り

[6.13.2][表6.13.1]

種類	厚さ(㎜)・規格等
・硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板	・15　・20　・25
・普通木毛ｾﾒﾝﾄ板	・15　・20　・25
・けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	ﾀｲﾌﾟ2(無石綿)
・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ(※9.0　・12.0　・　) ・凹凸ﾀｲﾌﾟ(※12.0　・15.0)　((個)不燃)
・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	・9.5（準不燃）　・12.5（不燃）
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)
・ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	・9.5（準不燃）　・12.5（準不燃）
⊙強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	・12.5（不燃）　・15.0（不燃）　○・ 21.0（不燃）
・難燃合板	
・普通合板	表板の樹種・　板面の品質・　厚さ ※図示 接着の程度・1種　・2種　防虫処理・行う　・行わない
・	

軽量鉄骨下地ﾎﾞｰﾄﾞ遮音壁の遮音ｼｰﾙ材 [6.13.2]

※適用する　・適用しない

・せっこうﾎﾞｰﾄﾞの継目処理 [6.13.3][表6.13.5]

目地工法の種類	せっこうボードのエッジの種類	施工箇所
・継目処理工法	・ﾃｰﾊﾟｰ　・ﾍﾞﾍﾞﾙ	
・突付け工法	・ﾍﾞﾍﾞﾙ　・ｽｸｴｱ	
・目透かし工法	・ﾍﾞﾍﾞﾙ　・ｽｸｴｱ	

事業名	南魚沼市上水道事業		
工事名	令和５年度　(継続)改良第１号 畔地浄水場非常用自家発電設備更新工事		
施工地名	南魚沼市　畔地　地内		
建築改修特記仕様書-3		縮尺	(A1)
図面番号	工期	着手日　令和　年　月　日	
A-3		竣工日　令和　年　月　日	
発注者	南魚沼市長	監督員	総括 主任
請負者		配管	